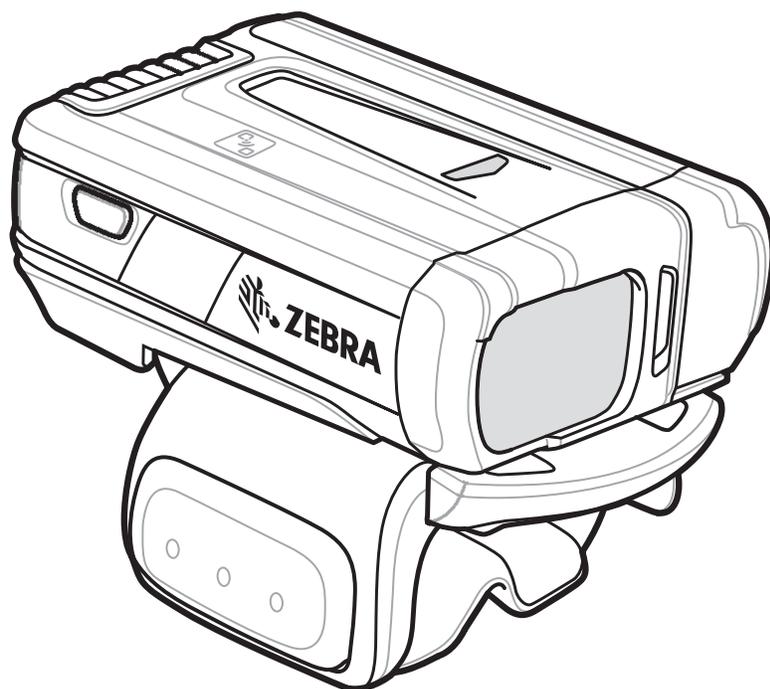




# RS6000



リング スキャナ

---

クイック スタート ガイド



## 2 クイック スタート ガイド

---

© 2016 Symbol Technologies LLC, a subsidiary of Zebra Technologies Corporation. All rights reserved.

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的で製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの適用および使用を直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言またはその他の特許権上または特許上のいかなる方法によるかを問わず、Zebra 製品が使用された組み合わせ、システム、機材、マシン、マテリアル、メソッド、またはプロセスを対象として、もしくはこれらに関連して、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

---

## 保証

Zebra のハードウェア製品の保証については、次のサイトにアクセスしてください。 <http://www.zebra.com/warranty>

---

## サービスに関する情報

本機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合は、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、次のサイトに問い合わせを行います。

<http://www.zebra.com/support>

このガイドの最新版については、次の Web サイトでご確認ください。 <http://www.zebra.com/support>

## 機能

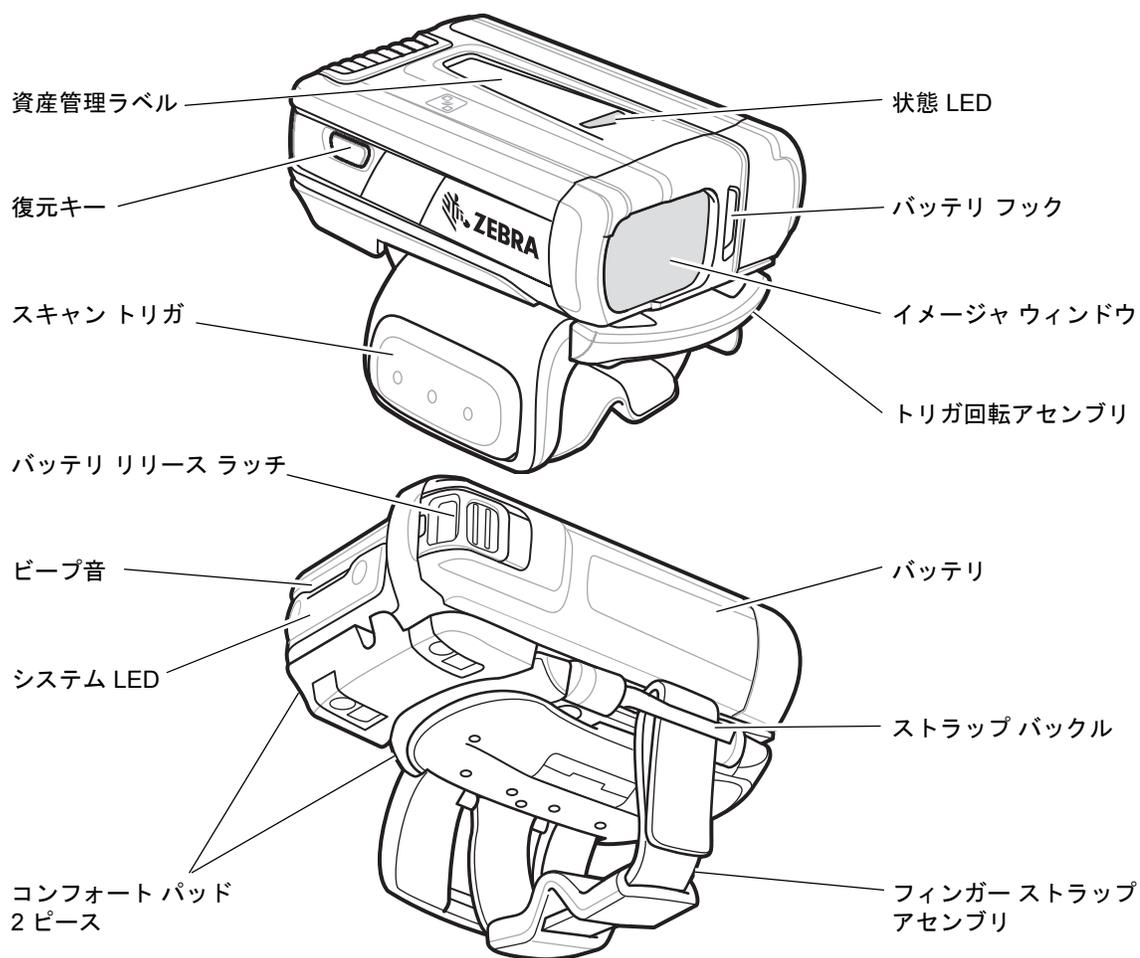


図 1-1 RS6000 トリガ設定機能

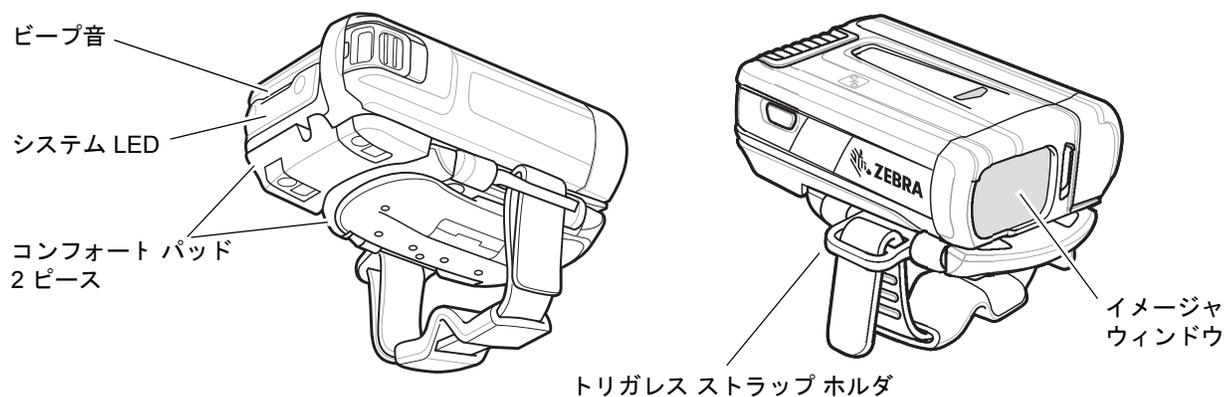


図 1-2 RS6000 トリガレス設定機能

### バッテリーの取り付け

1. RS6000 の上部にバッテリーを合わせ、バッテリー コンパートメントに金属部分の端を挿入します。
2. バッテリーを RS6000 のロック スロットに完全にスライドさせます。
3. カチッという音が聞こえるまで RS6000 内にバッテリーをしっかりと押し、バッテリー リリース ラッチを本体に完全にはめ込みます。

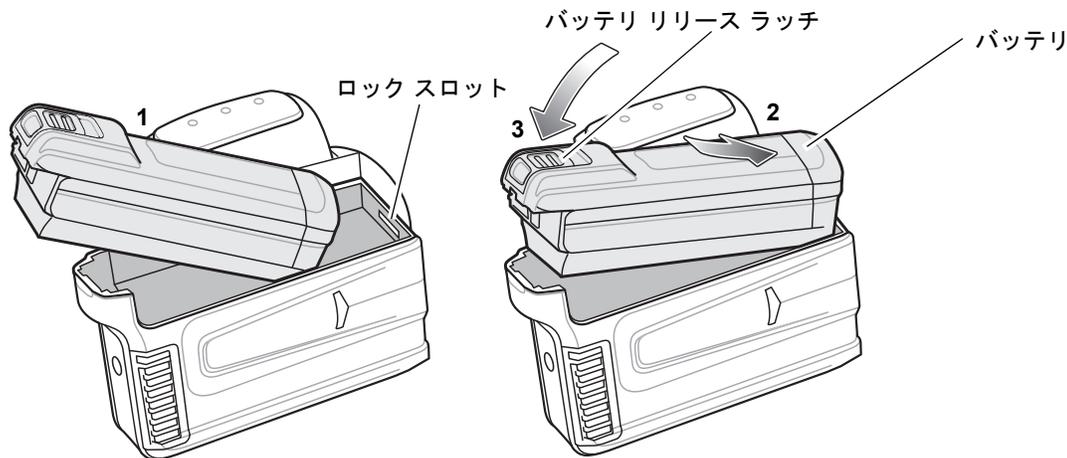


図 1-3 バッテリーの取り付け

---

### Bluetooth の接続

- ✓ **注** 下記の接続方法は、Zebra モバイル コンピュータのみに適用されます。詳細については、『RS6000 User Guide』(p/n MN-002704-xx) を参照してください。

### NFC タップツーペア

RS6000 は NFC 対応で、Bluetooth タップツーペアをサポートします。

WT6000 と接続するには、以下の手順を実行します。

1. NFC が WT6000 で有効になっていることを確認します。
2. RS6000 の NFC アイコンと WT6000 の NFC アイコンを合わせます。

RS6000 が WT6000 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

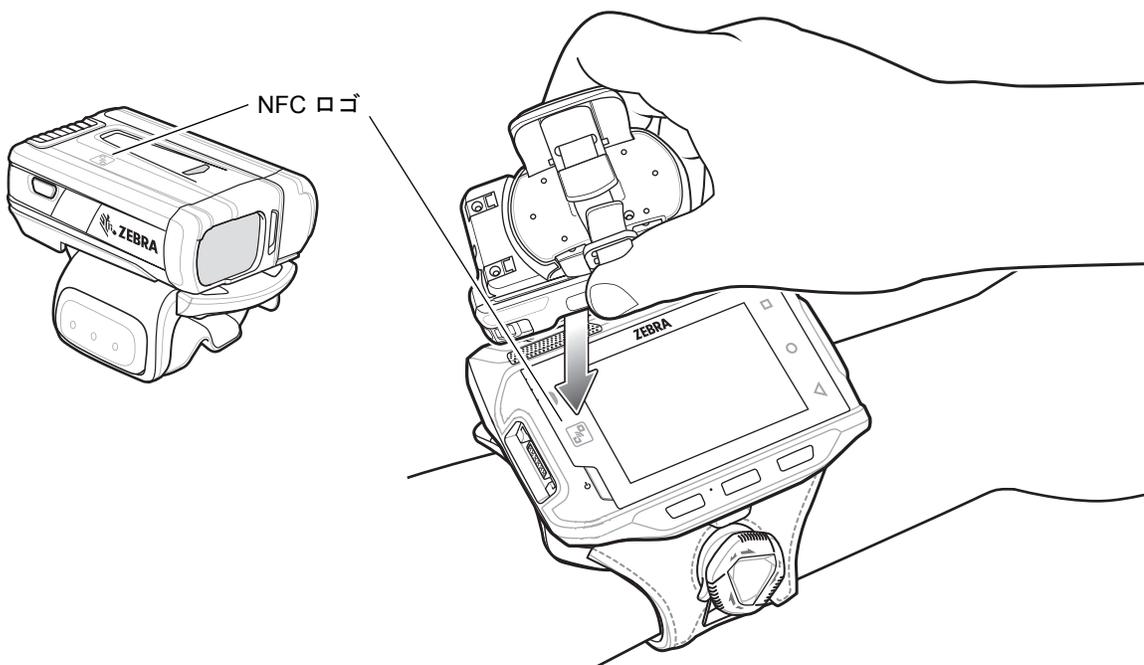


図 1-4 NFC アンテナをタッチ

✓ 注 すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

## Scan2Pair

SSI を使用して RS6000 を WT6000 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. WT6000 で  >  >  をタッチします。Bluetooth Pairing Utility (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) が開きます。

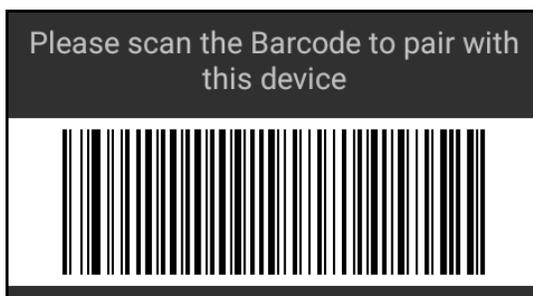


図 1-5 Bluetooth Pairing Utility (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)

2. RS6000 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS6000 が WT6000 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

WT6000 で、ペアリングが成功したことを示す通知 (音声および画像) が表示されます。Bluetooth 接続が確立されると、WT6000 の画面上にポップアップ通知が表示されます。

3. WT6000 で、 をタッチしてメイン画面に戻ります。

### スキャン

RS6000 のスキャンには、トリガとトリガレスの 2 つの種類があります。トリガとトリガレス スキャンの有効化に関する詳細については、『RS6000 User Guide』(p/n MN-002704-xx) を参照してください。

#### トリガ スキャン

1. モバイル コンピュータでスキャン ソフトウェア アプリケーションを起動します。
2. RS6000 をバーコードからおよそ 22.8cm (9 インチ) の位置に配置し、スキャン トリガを押します。バーコードをカバーするようにクロス ヘア レーザー ビームの位置を調整します。RS6000 はバーコードのデジタル写真 (画像) を取り、デコードするためにメモリに保存します。

スキャン LED が緑色に点滅し、バーコードが正しくデコードされたことを示す高いビープ音が鳴ります。

✓ **注** 一部の構成では、バーコードの適切な読み取りは、モバイル コンピュータ上で動作するソフトウェア アプリケーションで示されます。

#### トリガレス スキャン

RS6000 では、自動トリガ機能が提供されています。自動トリガ モードでは、ユーザーがバーコードをスキャンしようとする際に、RS6000 をトリガするために、モーション センサと近接センサの両方が使用されます。

自動トリガを有効にすると、RS6000 では、モーションが止まってバーコードが RS6000 の近接センサの検出視野内に配置されたときに、自動でスキャンを行います。RS6000 はバーコードをスキャンし、電力を節約するために低電力モードに切り替わります。

自動トリガ モードでバーコードをスキャンするには、以下の手順を実行します。

1. モバイル コンピュータでスキャン ソフトウェア アプリケーションを起動します。
2. RS6000 をバーコードからおよそ 22.8cm (9 インチ) の位置に配置します。バーコードをカバーするようにクロス ヘア レーザー ビームを合わせます。RS6000 はバーコードのデジタル写真 (画像) を取り、デコードするためにメモリに保存します。

スキャン LED が緑色に点滅し、バーコードが正しくデコードされたことを示す高いビープ音が鳴ります。

## 充電

✓注 『RS6000 User Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

RS6000 や予備バッテリーを充電するには、次の表のアクセサリのいずれかを使用します。

表 1-1 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	バッテリーのみ	microUSB から USB	イーサネット
1 スロット RS6000 USB 充電クレードル	CRD-NGRS-1S1BU-01	○	○	○	×
2 スロット WT6000/RS6000 充電クレードル	CRD-NWTRS-2SUCH-01	○	×	○	×
5 スロット RS6000 充電 専用クレードル	CRD-NGRS-5S5BC-01	○	○	×	×
5 スロット RS6000 イーサ ネットクレードル	CRD-NGRS-5S5BE-01	○	○	×	○
10 スロット WT6000/RS6000 充電専用クレードル	CRD-NWTRS-10SCH-01	○	×	×	×
10 スロット RS6000 充電 専用クレードル	CRD-NGRS-5S5BC-01	○	×	×	×
4 スロット バッテリー充電器	SAC-NWTRS-4SCH-01	×	○	×	×
20 スロット バッテリー 充電器	SAC-NWTRS-20SCH-01	×	○	×	×

すべての充電アクセサリに関する詳細については、『RS6000 User Guide』(p/n MN-002704-xx)を参照してください。

### RS6000 の充電

RS6000 を充電するには、以下の手順を実行します。

1. RS6000 を RS6000 充電スロットに挿入します。

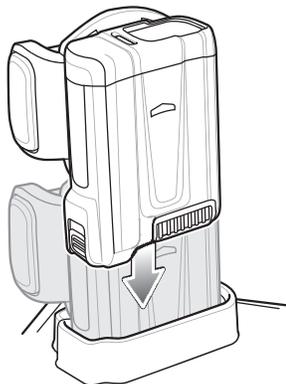


図 1-6 RS6000 をクレードルに挿入する

2. RS6000 が充電スロットに正しく取り付けられていることを確認してください。

### 予備バッテリーの充電

1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。

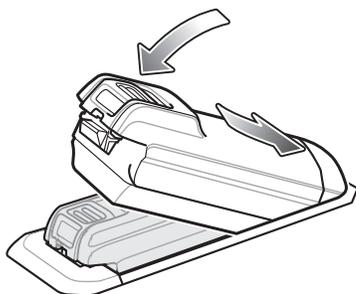


図 1-7 クレードルにバッテリーを挿入する

2. バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。

## バッテリーの充電

RS6000 充電 LED は RS6000 のバッテリーの充電状態を示し、予備バッテリー充電 LED は予備バッテリーの充電状態を示します。1-9 ページの表 1-2 を参照してください。3,350mAh バッテリーは室温の場合に 4 時間以内にフル充電が完了します。

表 1-2 充電 LED インジケータ

状態	意味
消灯	バッテリーが充電されません。バッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。クレードルに電源が供給されていません。
黄色で点灯	バッテリーが充電中です。
緑色で点灯	バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 - バッテリーの温度が、充電するには低すぎるか高すぎます。 - バッテリーの充電サイクルがタイムアウトに達しました。バッテリーが、フル充電サイクルの目安時間 (通常 8 時間) を経過しても充電できません。
赤色で点灯	消耗したバッテリーが充電中であるか、または完全に充電されています。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行ってください。デバイスおよびクレードルは、バッテリーの温度を監視します。バッテリーの充電は、バッテリーが安全な充電温度範囲内にあるときにのみ実行されます。高温 (たとえば、約 +35°C (+95°F)) の場所では、デバイスまたは充電クレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。このプロセスでは、完全な充電サイクルを完了するために、さらに時間が必要な場合があります。クレードルは、異常な温度のために充電を行えなくなると、状態 LED でそれを示します。

## 1 スロット RS6000 USB 充電クレードル

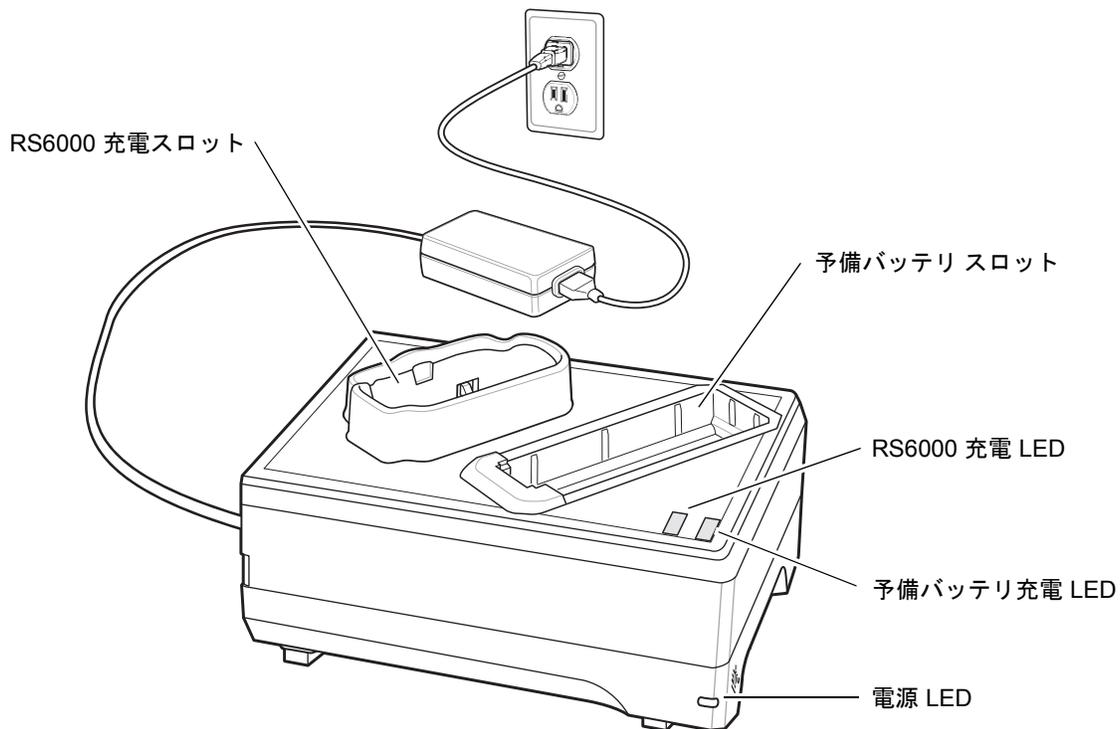


図 1-8 1 スロット RS6000 USB 充電クレードル

## 2 スロット WT6000/RS6000 充電クレードル

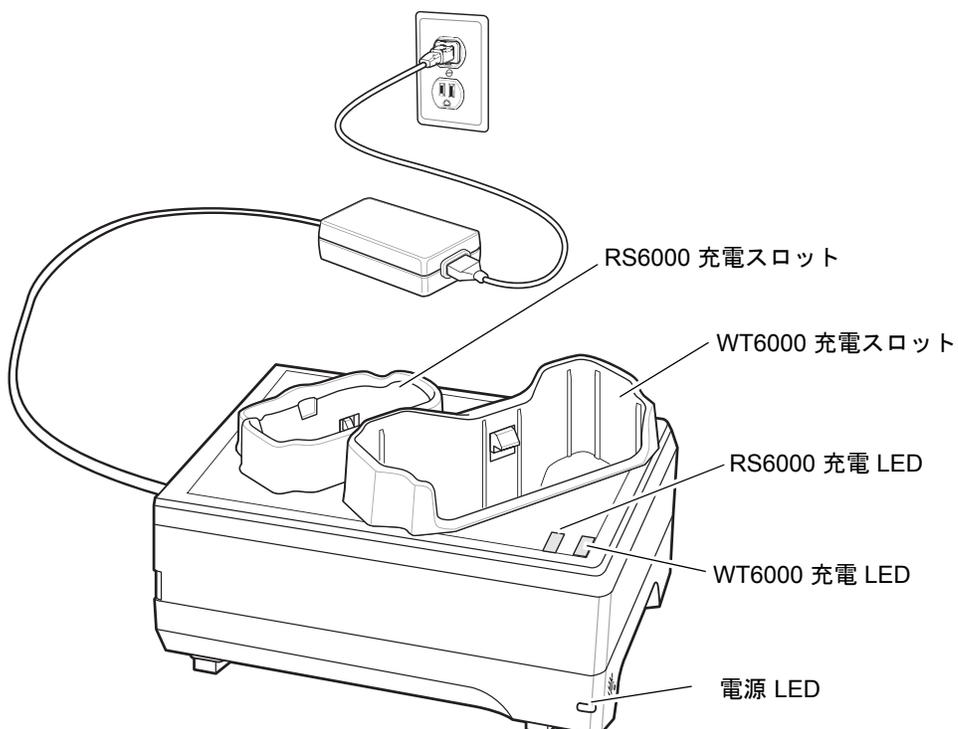


図 1-9 2 スロット WT6000/RS6000 充電クレードル

## 5 スロット RS6000 充電専用クレードル

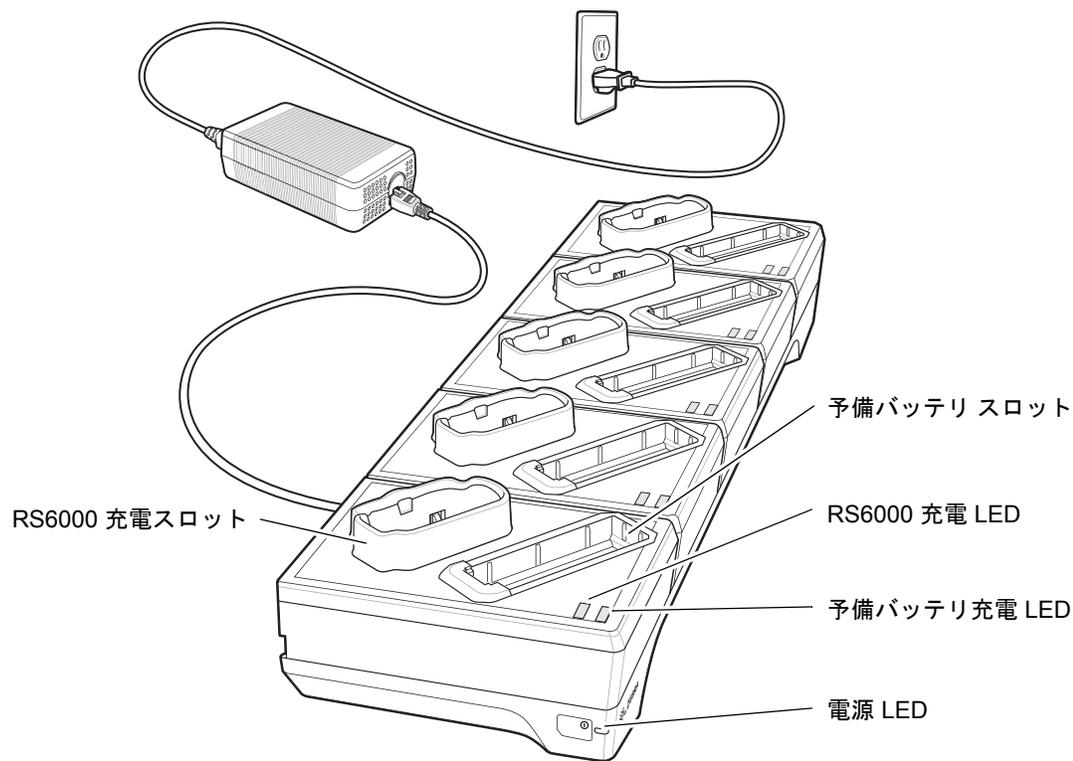


図 1-10 5 スロット RS6000 充電専用クレードル

## 10 スロット WT6000/RS6000 充電専用クレードル

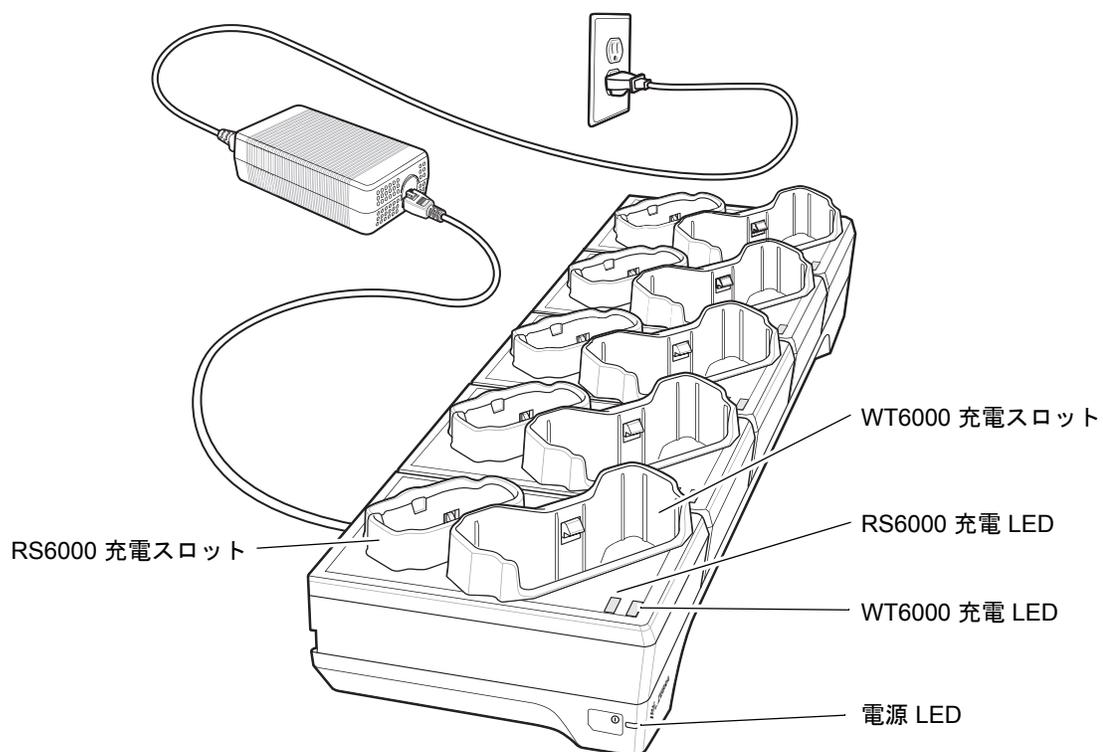


図 1-11 10 スロット WT6000/RS6000 充電専用クレードル

## 10 スロット RS6000 充電専用クレードル

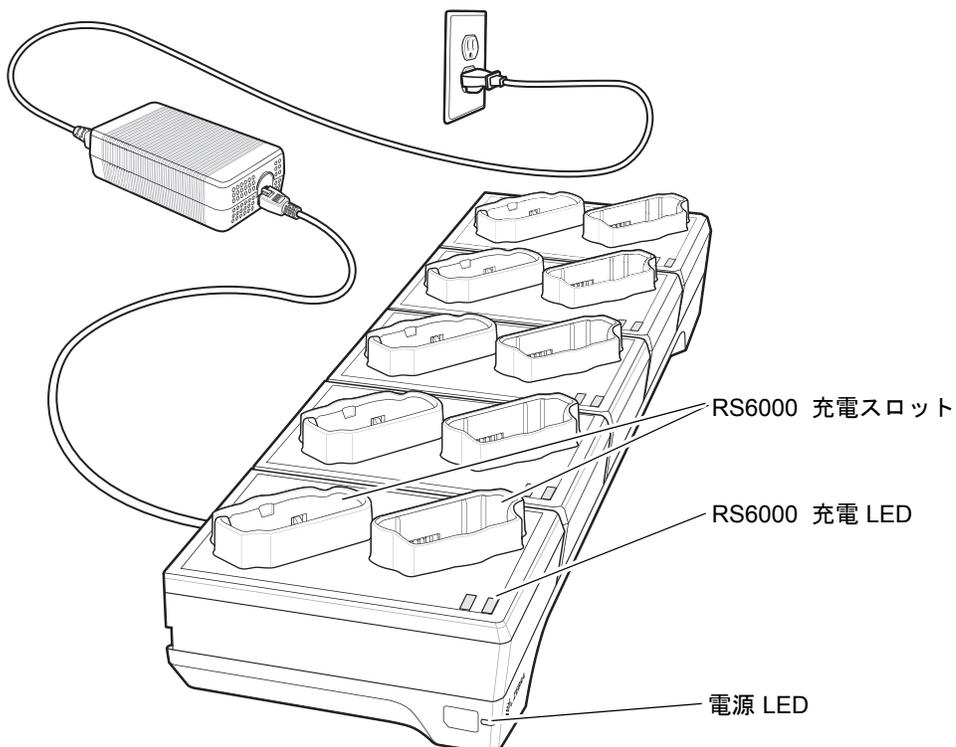


図 1-12 10 スロット RS6000 充電専用クレードル

## 5 スロット RS6000 イーサネット クレードル

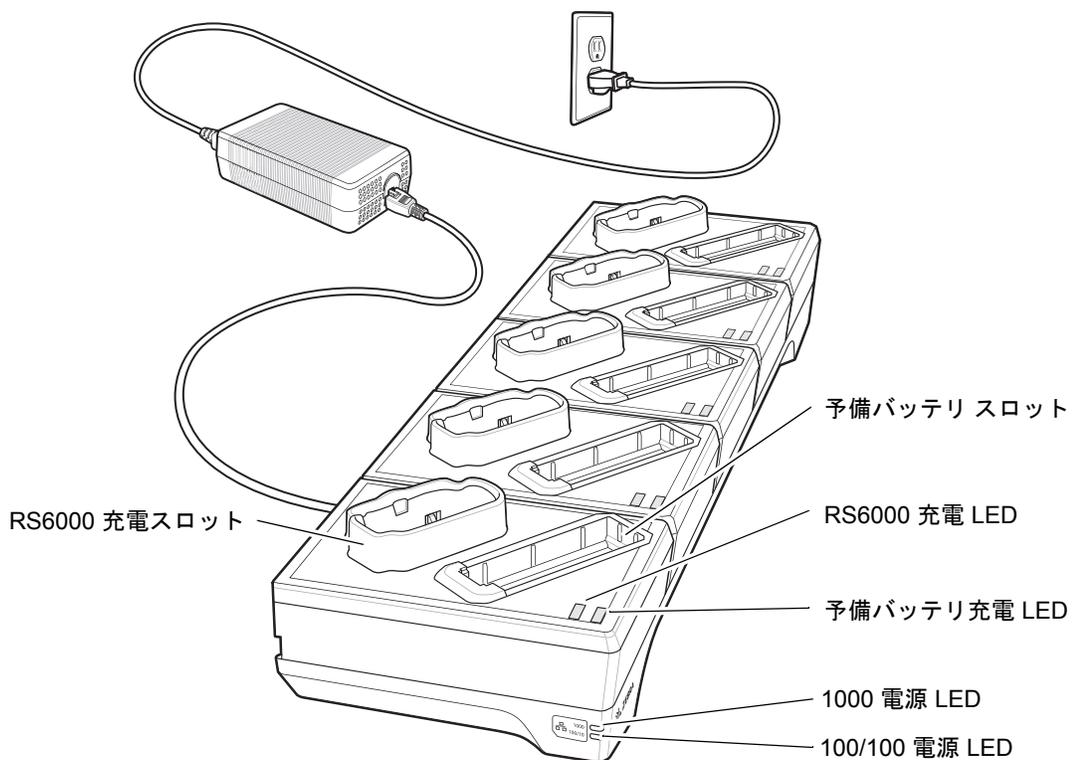


図 1-13 5 スロット RS6000 イーサネット クレードル

## 4 スロット バッテリ充電器

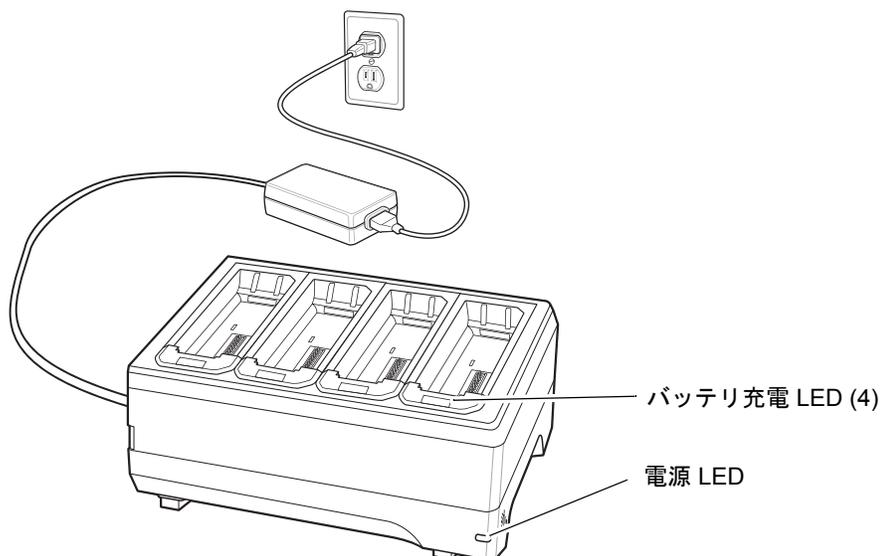


図 1-14 4 スロット バッテリ充電器

## 20 スロット バッテリ充電器

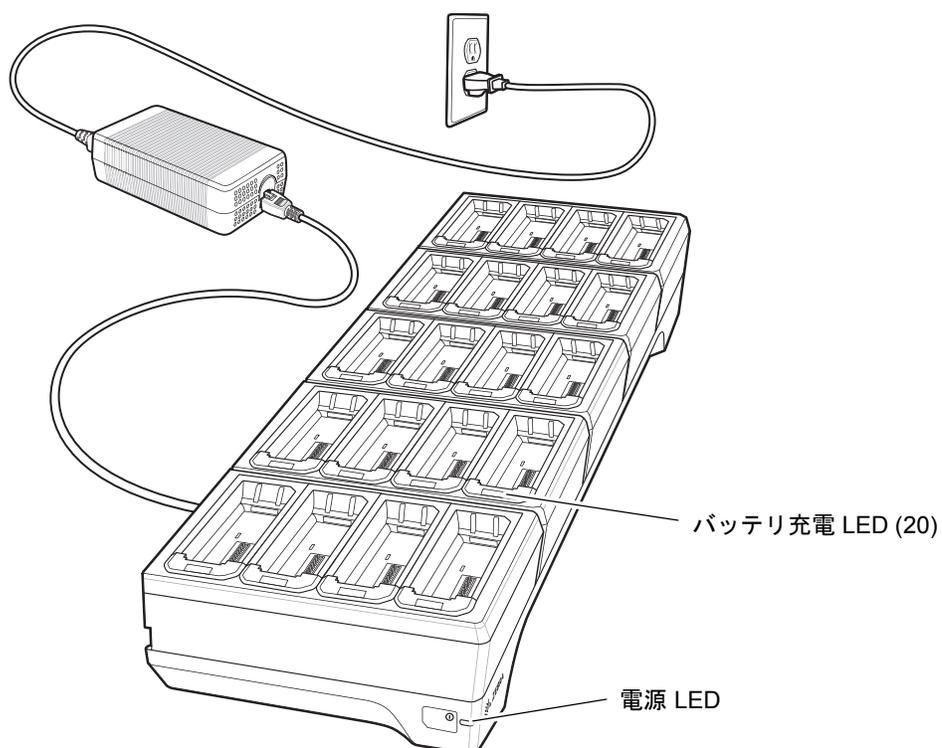


図 1-15 20 スロット バッテリ充電器



Zebra Technologies Corporation, Inc.  
3 Overlook Point  
Lincolnshire, IL 60069, U.S.A.  
<http://www.zebra.com>

Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

© 2016 Symbol Technologies LLC, a subsidiary of Zebra Technologies Corporation. All rights reserved.